

人と自然が共存できる里山回復を目指した活動

猛暑日が連続する異常な夏

梅雨入りしても降水量が少なく、日本列島の各地で気温が40度を超え、日常生活でも体調不良や熱中症の危険にさらされる異常な事態が起きています。

日中、炎天下の地面は温度が50℃を超え、立っていても汗が噴き出ます。暑さを避けるには木陰が最高。

木陰は樹冠で熱が遮断され、葉の蒸散で気温が下がり、心地よい風に熱ストレスから解放される癒しの空間です。改めて樹木の役割、気候変動の緩和など、その重要な役割を認識します。

これからは都市環境における自然環境の維持管理に重点を置く取り組みが求められるでしょう。

今年は蟬の鳴き始めが遅く、ヒグラシやアブラゼミ、ミンミンゼミがほぼ同時に鳴き始めました。林内のコナラの樹液に集まる昆虫は少なく、異常な夏です。

林内の異変

梅雨の短期化や異常な高温が続き、コナラの樹液に集まる昆虫は何処に行ってしまったのでしょうか。スズメバチやカブトムシが姿を現しません。



飛来したアカボシゴマダラ



タマムシ



高木の下は涼しい風の通り道



雨が少なく晴天続きで水位が下がり枯渇



ツノトンボ（ウスバカゲロウの仲間）